

●とびくす●

建築 SDGs 講演会

—建築士の日イベント—

広報渉外委員会 杉本真理子

7月1日 建築 SDGs 持続可能な未来のために建築が果たすべき役割 講演会が徳島県木材利用創造センターにてオンラインとリアルにておこなわれました。

講師には、第1回 SDGs 建築賞 戸田建設 筑波技術研究所 グリーンオフィス棟の設計に携わった、戸田建設株式会社 技術研究所 所長 村江行忠氏と、香川県を拠点に木材を積極的に取り込んだ建築を手がけている島田治男建築設計事務所代表 島田治男氏を迎えました。参加者はオンラインも含め30名ほどで、パネルディスカッションも、熱心な議論がありました。趣旨としては、徳島県建築士会、また地方の建築士がどのようにSDGsに取り組みれば良いか、全国規模から、又地方からのそれぞれの取り組みを学ぶことでした。

戸田建設(株)村江さんは主に筑波技術研究所 グリーンオフィス棟の設計コンセプトと戸田建設が取り組むSDGsについてお話していただきました。①行動を誘発させる建物計画 ②新しい働き方に対応した運用 ③カーボンマイナスの実現5実現するためにおこなった設計では、サーカディアンリズムを考へて、人本来の生活リズムを取り組むために配慮した光等の取り入れ方や、WELL 認証 (WELL 認証とは、建物の環境・エネルギー性能と利用者の健康・快適性を評価する世界初のシステムです。健康志向、生産性向上、さらには離職率の低下に寄与するなどの取得メリットがあるといわれています。) や、従業員の健康に配慮した企業運営や取り組み

についてお話していただきました。建物だけでなく、周辺への環境や、教育も考慮して、ビオトープも設けるお話もありました。また、このSDGsの取り組みが、今後どのような経済効果にあらわれるのか、SDGsの意味についても短い時間でしたが、興味深い内容でした。

次に島田さんは自社が取り組んでいる CLT を用いた建築のお話がありました。

カーボンネガティブの観点からも木材を使った大型の建物の取り組み、そして建築に携わる人たちが無く、地方の経済人へSDGsの取り組みが、地域にどのような影響を及ぼすのか、建築士として自分たちが地域へ貢献できることは何なのか。

具体的に、地熱の利用や、地域材への想いから CLTをつなげる働きかけのお話がありました。

村江さんに、地方は遅れているなあ〜と話したところ、「地方には地方で課題がありますよ」と話がありました。

SDGsに取り組みなければとは考えていても、実際何をすれば良いのか、どうやって表明して、どうやって取り組むのか迷っていましたが、今回の講演で、建築士会とし、又一建築士としての道筋が見えてきました。遅くはないので、すぐにでも持続可能な世界のために、建築士として、徳島県建築士会として、すぐに取り組みたいと感じた講演会でした。



第1回 SDGs 建築賞
戸田建設 筑波技術研究所 グリーンオフィス棟



徳島県木材利用創造センターにて

●地域会だより●

住まいの耐震化

板野地域会 福井 政人

『徳島新時代へ徳島の今、そして未来へ』

西日本豪雨の発生から5年、頻発する豪雨災害だけでなく、南海トラフ巨大地震に備え県と市町村職員が対策本部図上訓練を始めるとの説明もあり、災害対応力を備えた職員の養成を始める方針です。

私たち建築士の出来ることは些細ではありますが未来の子供たちがともに共存共栄の出来る社会づくり、持続可能な建築資源、環境に優しい材料の生産使用そして大切なことは資源・資材の再利用を行い地球環境に負荷を与えないよう努めることなどと感じています。

先日7月10日早朝、九州でも数年に1度といいいながらも各地に次々と大雨特別警報が出るなど甚大な豪雨被害／土砂災害が起こり日本各地でも、いつか、どこかで、地震災害などが悪魔と豹変しそうで、自然の力にはなすすべもなく人々は無力になります。

だからこそ、あらためて建築士が守る物は、お客様の生命・財産であると思い、まったなし！の「住まいの耐震化」のお話です。



お客様にむかい、建物に対するお施主様の想い・気持ちを感じ、住宅の構造、創りに合わせて住まいの個性を生かし、味わいのある作品を（耐震診断支援）という形で取り組み、住宅の骨組み構成、表には現れない計算値、のぞまぬ妥協を繰り返しながら、一棟ずつコツコツと細かく細部にわたり全体を考え、ベストな方法（金額、工程、美観）を考慮した状態で仕事に踏み込んでいます。

住まいの耐震化が現在私の日課になっています。耐震化のための調査／写真撮影／現況確認などお客様の要望・地震災害の不安解消・対策などなど、、思いはたくさんあるようですが、希望に向けてまずは耐震診断書作成となります。

市町村により多少の違いはありますが、鳴門市・藍住

町・上板町と地域の安全安心を目指し、まずは木造個人住宅への取り組み、書類検査完了後再度の住宅訪問、個別特性の報告、耐震補強計画の聞き取り調査報告書作成になる。これには個別住宅ではあるが若干自分の感情移入される、どこまでの作業なのか、強度をどこまで？住みながらの改修？の難しさを痛感する。まずは耐震改修支援事業の要件、『改修後の評点を1.0以上とする』。でも、後悔のない補強を考えなくてはならない！必須事項は他にもある。

■住まいスマート化支援事業

■耐震シェルター設置支援事業

■住替え支援事業

診断結果を元に、改修工事の補強計画書作成を行う。当然の作業ではあるが、お施主様の同意をいただきます。作業経路も考慮します。耐震施工を考え、作業のしやすさは竣工の美しさに繋がる、むろん工期短縮、施工金額にも影響する。同時に工事施工計画、感震ブレイカー、スマート化、家具固定なども含め資料収集他。現地では実施施工に悩む事も多々あり、これがなかなか楽しいものである。

再度の書類提出、確認検査となり、住宅の安全安心のための強度確保を行い、最終の書類受取により一連の耐震補強計画支援が完了します。

耐震診断同様にお客様に書類を引渡し、まずは目指す住まいの耐震化に一步前進です。

木造住宅耐震技術者の養成と、耐震施工計画実施の増加を願い手順を書き綴りました。



木造2階建て住宅（耐震診断）

徳島県の木造住宅の被災が少なく、災害による死傷者が減少することを願い日々精進です。

●あなたが出番●

やましろ戦国国ざかいめぐりの会？

三好地域会 橋本 美保

なにかと体調を崩しやすい時期ですが、みなさまお変わりないでしょうか？

今回の「あなたが出番」の担当をさせていただくことになり、建築との関係はまったくなくなってしまうのですが、今私が取り組んでいる活動のことを書かせてもらうことにします。

名付け親は誰だったのか…「やましろ戦国国ざかいめぐりの会」何それ～？ですね。

2020年コロナで誰もが影響を受けた年、特に私の住む三好市西部は、大歩危祖谷の観光を中心とした地域であり、多くの方が苦しんでいた時期です。そんな時に地元の人でも何気なく見過ごしていた小歩危峡を地元の人で歩いてみようというイベントが開催されました。

私も歩いたのは初めてで、昔の生活と吉野川の関わりの話や吉野川にたくさんある瀬の名前を教えてもらいながらのウォーキング、絶景ポイントからの眺め、どれも新鮮で楽しい時間でした。

そこでガイド役をしてくれていた御年87歳のSさんに「山城には、まだまだ面白いところがある。」と聞き、じっとしてられる訳がなく、参加していた地元のホテルに勤めていた友達とSさんとで、三名士（山城町の旧三名村にいた阿波国と土佐国の国ざかいを警備していた山岳武士）の史跡を辿ることにしました。

それがきっかけでできたのが、「やましろ戦国国ざかいめぐりの会」であります。自分が生まれたな一にもない山間のまちに、こんな面白い歴史や妖怪伝説（今では結構有名になりましたが）の話がわんさかあって、まだまだ知られていない史跡や絶景ポイントが残っていました。もっといろんなことを知りたいし、そしたらそれをもっと多くの人たちに知ってもらいたい…残してもいい…そんなことを考えているうちに、次第に同じ思い

を持つ仲間も増えて、現在は17名で活動できるようになりました。

仕事も住んでいるところもバラバラですが、みんな山城愛を持っていることが共通条件です。イベントには参加できなくてもできなくてもそれはオッケーです。

みんなに知ってもらうためのイベントはもちろん手作り。「国境の歴史を巡るウォーキング」は、毎年春の三名士が戦に備えて弓の練習をしたとさせる百手祭りに合わせて行っています。三名士にまつわる史跡をたどり、国境近くで絶景を見ながら手作りお弁当をいただきます。これはスタッフである私たちも楽しみにしているポイントです。

また「とどろ淵ウォーキング」は、きれいな淵まで歩いていき、そこの水で淹れた美味しいコーヒーと手作りのお菓子をいただきます。仁淀ブルーに負けてない大歩危グリーンと勝手に呼んでいます。

ほかにも、大歩危峡の清掃活動を行ったり、みよしジオガイドの会のみなさんと妖怪ジオツアーのコラボ企画や四国妖怪フェスティバルの初開催、新しいイベントではこの秋に「大歩危妖怪 RUNRUNRUN」というランイベントを計画しています。

月一定例会でメンバーが提案してくれた「戦国ミッション」自分がやってみたいことをとにかく発表してそれにメンバーが協力する。そしてミッションはできなくてもOKとする。というゆるくてしっかりしたのですが、今までの企画もその戦国ミッションです。

私のミッションは、山城町にあるのろし場をつなぐ「のろし祭り」そしてガイドのセンス抜群のメンバーが登場するYouTubeチャンネルを作ること。

そんなことを考えながら、楽しい国ざかいでの生活を送っています。



●士会だよりーシニア部会●

「住まいの終活セミナー」のご案内

住まいを設計し、建てるのが仕事の建築士も、高齢化して、その住まいの行く末をどうしたらよいのだろうか？ と悩む。

誰に相談したらよいのか？ どんな制度があるのか？・・・。

セミナーと銘打っていますが、参加者で悩みごとを相談し合う機会になれば、と思っています。

誰が？ 住まいを終活できるのか？ ということなどを、しみりと話してみますか・・・。

参加希望の方は矢部（080-2982-9922）、佐藤（090-1008-2607）まで連絡を。

日時：8月19日(土)、14：00～16：30

場所：まちの縁が輪（徳島市幸町1丁目43：

佐藤建築企画設計の1階・空き店舗内）

最寄IC：徳島自動車道/井川池田IC 12km（20分）

TEL 0883-86-2900

3 会費 5,000円/人

（会費は当日集金させていただきます）

プレー費、食事代は自己負担にてお願いいたします。

4 競技方法

18ホールストロークプレイ、ハンディキャップはダブルペリア方式。同ネットは年長者を上位とします。ルールはレオマ高原ゴルフ倶楽部のローカルルールを適用します。

5 表彰 競技終了後、コンペルームにて個人戦および団体戦の表彰を行います。

6 申込 なるべく2人1組で、9月19日(火)までに各地域会に申込みください。

●士会だよりー徳島支部●

ー「てばの家」土間改修（たたき）

イベントのご案内ー

出羽島まちづくりハウス「てばの家」の内部土間の改修等をみんなでやってみようという企画です。泊り、日帰りどちらでもOKです。見学もかねて支部を問わずご参加お願いします。

日時：8月26日(土) 牟岐港集合

午前11：10発 出羽島泊

8月27日(日) 牟岐港集合

午前8：20 牟岐港発

午後4：35 出羽島発（帰路）

場 所：牟岐町出羽島「てばの家」

準 備：作業のできる服装でご参加ください

（シャワー完備です）

食 事：宿泊の方：自炊します。

日帰り参加の方：お弁当持参で

参加費：無料（旅費・往復の船賃440円は、ご負担願います）

申込先：徳島支部事務局まで

●行政だよりー徳島県●

徳島県建築行政関係職員名簿

都市計画課

主査兼係長 大塚 貴久

住宅課建築指導室

室 長 佐藤 一之

係長（指導・宅建担当） 尾形 圭一

東部県土整備局

局 次 長 美野 英司

（徳島庁舎）係長 松原 準

（吉野川庁舎）主任 江本 泰英

南部総合県民局

課 長 補 佐 美馬本昭二

係 長 滝下 裕子

西部総合県民局

（美馬庁舎）主査兼係長 福田 正志

（三好庁舎）主任 坂本 剛

●士会だよりー美馬・三好地域会●

令和5年度徳島県建築士会
親睦ゴルフ大会開催のご案内

徳島県建築士会親睦ゴルフ大会を下記のとおり開催いたします。

多数ご参加をお待ちしています。

1 日時 令和5年10月11日(水)

午前9：30スタート

2 場所 レオマ高原ゴルフ倶楽部

三好市山城町大和川652

編集後記

・近所の市街化区域が、ここ数年で急に区画されて家が建ち並び始めた。この動き今も続いている。何故コロナ下で新築ブーム？

（ノーツ号）

・今月は忘れずにきました。

（酎西）

・酎西、大活躍!!

（ひとはたうさぎ）

・酎西さん、ありがとう！

（ぺべい）

・おじいちゃんじゃないよ。ママだよ。

（源子）

・イエイ！

（おとねい）

建築士会本部行事

令和5年8月	令和5年9月
9日(水) 建築相談 (士会会議室)	10日(日) 二級建築士試験（製図） (建設センター)
11日(金)～15日(水) 事務局休業	13日(水) 建築相談 (士会会議室)
21日(月) 木造住宅耐震技術者講習（新規） (建設センター)	15日(金) 中国四国ブロック事務局長会議 (岡山県)
23日(水) 建築相談 (士会会議室)	27日(水) 建築相談 (士会会議室)
	28日(木) 建築士定期講習 (建設センター)

※ 木造住宅耐震相談は、平日の午後1時から午後4時まで実施しています。

※ 建築相談は第2・第4水曜日の午後1時・2時・3時（相談時間は1時間以内）に実施しています（要予約）。

発行所

公益社団法人 徳島県建築士会

〒770-0931 徳島市富田浜2丁目10番地

建設センター 5F

[TEL] 088-653-7570 [FAX] 088-624-1710

[MAIL] tokuarc-honb@diary.ocn.ne.jp